

(表紙)

(東日本大震災復興交付金)
都市防災事業計画(当初)

宮城県塩竈市

平成24年1月

上段:変更前[当初](黒字)

(様式1)整備方針等

整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

塩竈市では、これまで地域防災計画に基づいて、防災対策を実施してきており、本計画の中で、避難所については、宮城県沖地震(連動型)の被害想定に基づき、避難者3,200人を想定した避難所の整備及び備蓄を行なってきた。特に、津波対策については、昭和35年のチリ地震津波による被害に対応するため、宮城県によりT.P2.7mの防潮堤の整備が進められてきており、本市では、防潮堤の整備に合わせて、防災行政無線の整備、ハザードマップの作成、避難路の整備、一時避難場所(避難ビル)の整備、住宅等の耐震化の促進、自主防災組織の強化等に取り組んできた。

東日本大震災の際、津波の浸水深が本土地区で約4m、浦戸地区では約8mに達し、防潮堤の整備が塩釜港の一部にとどまっていたこともあり、津波により市域の22%が浸水し、人的被害は47名、住家等の被害は全壊1,009件、大規模半壊2,507件、半壊2,145件に達するなど甚大な被害を受けた。また、震災時の避難者も最大約9,000人に達し、これまでの整備・対応を上回る津波被害となった。

さらに、震災により、沿岸部を中心に30cm~1m超の地盤沈下がみられ、既存防潮堤の損壊や排水施設・ポンプ場が被災したとあいまって、台風や高潮時には道路及び宅地の浸水・冠水被害が続いている。

こうした現状にあって、本市では、平成23年12月に「塩竈市震災復興計画」を策定し、震災復興に向けた取り組みを進めることとしており、また、地域防災計画についても、東日本大震災を踏まえた全面的な見直しを今後行う予定にしている。

津波対策の基盤となる防潮堤について、本市においては、今後宮城県によるL1レベルの津波に対応した防潮堤の整備が行われることとなっているが、港湾と市街地が接していることから、二線堤の整備が困難であることから、その整備は行わないものとしている。

それゆえ、今次津波レベルのL2レベルの津波が襲来する場合には、今次津波と同様の浸水が想定されることから、防災行政無線の改善、防災センターの整備、避難所の整備・充実、高台地域への避難路の整備、避難タワー・避難ビルの整備、緊急輸送路の整備など、安全な避難を確保するための取り組みが不可欠となっている。

【整備方針】

塩竈市は、平成23年12月に「塩竈市震災復興計画」を決定・公表した。本計画では、基本理念として「長い間住みなれた土地で、安心した生活をいつまでも送れるように」を掲げ、「1.住まいと暮らしの再建」、「2.安全な地域づくり」、「3.産業・経済の復興」、「4.放射能問題に対する取り組み」、「5.浦戸地区の復興」を基本的な方針として定め、安全に暮らせる住宅の再建、災害に強いまちづくりの推進、公共施設の早期復旧と震災対応力の強化を図ることとしている。

特に、災害に強いまちづくりの推進に向け、「1.被災した防潮堤の復旧・整備を促進し津波による浸水対策の強化に努めます。また、背後の幹線道路に堤防機能を付与することや防災緑地、安全な避難場所、避難経路を整備するなど、災害に強いまちづくりを推進します。」、「2.一般木造住宅並びに公共公益施設の耐震化を促進するとともに、再度の災害を防止するために地盤崩落対策を実施します。」、「3.避難場所や避難経路、防災備蓄の検証など、地域防災計画の全面的な見直しを実施します。また、町内会活動の促進に向けた集会所施設等の復旧・整備を図るとともに、自主防災組織結成率の向上を推進します。」としているため、津波浸水地区都市防災推進事業計画を策定し、津波浸水地区における都市防災事業を着実に推進する。

【具体的な内容】

千賀の浦緑地都市公園事業:塩釜港に面する千賀の浦緑地に避難タワーを整備し、津波襲来時の市民・観光客の安全を確保する。

北浜公園都市公園事業:今次津波において大きな浸水被害を受けた北浜地区の、L2レベルの津波による家屋損壊等の軽減を図るため、津波緩衝施設を整備する。

新浜町公園都市公園事業:地盤の液化化等の被害を受けた水産加工団地の防災対策の一環として、新浜町公園において災害時の避難・支援活動拠点となる場を整備する。

一本松公園・塩釜港緑地都市公園事業:今次津波で浸水被害を受けた物流拠点の貞山地区の防災対策の一環として、災害時の避難・支援活動拠点となる場を整備する。

北浜地区都市防災推進事業:北浜地区の東塩釜駅方面や高台地域への安全な避難を確保するため、避難路及び資機材の保管等を行う防災拠点を整備する。

本塩釜駅周辺地区都市防災推進事業:沿岸部の本塩釜駅周辺地区における安全な避難を確保するため、一時避難場所となるとともに、情報の受発信を行う通信機器や災害備蓄を備えた津波浸水地区都市防災推進事業:津波浸水地区から高台地域への安全な避難を確保するため、避難路、防災拠点等の防災施設を整備する。

港湾地区都市防災推進事業:観光拠点となるマリングート塩釜周辺に來街する観光客や市民の安全を確保するため、「R本塩釜駅~千賀の浦緑地~マリングート塩釜をつなぐ避難路として、避難デッキを整備する。

復興まちづくり総合支援事業:復興まちづくり計画の検討、津波シミュレーション、復興交付金事業の調整や統合マネジメント等を行うことにより、円滑な復興事業の推進を図り、早期に、災害に強い安全なまちづくりを実現する。

計画事業一覧

都道府県名	宮城県	市町村名	塩竈市	計画期間	平成23年度 ~ 平成24年度
-------	-----	------	-----	------	-----------------

【都市防災総合推進事業】

事業区分	事業主体	事業地区名	地区面積 (ha)	整備内容	国費率	交付対象事業費(予定)額		交付対象要件						位置付けのある計画名	
						(参考)事業費	(参考)国費	既成市街地	大規模地震	指定市	県庁所在	重点密集	DID		
災害危険度判定調査															
住民等まちづくり活動支援															
地区公共施設等整備	事業計画														
	都市施設(公園・緑地)														
	地区公共														
	防災まちづくり拠点(直接)														
	防災まちづくり拠点(間接)														
	防災情報通信ネットワーク(特例)														
復興まちづくり総合支援事業	復興まちづくり計画策定支援	塩竈市	津波浸水地区	復興まちづくり計画検討、都市防災事業計画策定、津波シミュレーション、復興事業監理、PR図書作成等	1 / 2	88.3	66.2								復興まちづくり総合支援事業
	復興に向けた公共施設等整備(防災)														
	復興に向けた公共施設等整備(活力)														
	復興まちづくり施設整備助成														
合計						88.3	66.225								

注) 補助事業費について百万円単位。

注) 該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

注) 複合施設整備については、設計完了前に補助対象範囲を協議すること。